

たな取組は

- 2月26日～3月2日（本会議・委員会）：
市長による提案説明、総括質疑（7人）、
先行議決議案の4常任委員会、採決（2件）
 - 3月3日～12日（委員会）：4常任委員会
 - 3月15日～18日（本会議）：一般質問（26人）
 - 3月22日（本会議）：
討論（6人）、採決（44件）
- ※議案と審議結果については9ページをご覧ください。

今定例会では、公明党、市民クラブ、輝、みらい、日本共産党議員団、創風、会派に属さない議員（宮越議員）が総括質疑を行いました。

問／新型コロナウイルスワクチン接種は、令和3年度から本格的な接種となる。より安心でスムーズな接種体制をどう図るのか。

答／かかりつけ医などの医療機関での「個別接種」及び公共施設等や介護保険施設等での「集団接種」により実施する。接種の実施については多くの医師や看護師から協力可能との回答をいただいております。想定する方法での接種は可能と考え

問／新型コロナウイルス感染症の発症や重症化を予防し、同感染症のまん延防止を図るため、希望者に任意での予防接種として実施します。医療従事者への先行・優先接種後に、高齢者及び介護保険施設等従事者、次に16歳から64歳までの市民の順に行います。

新型コロナウイルスワクチン接種
安心してスムーズな接種体制は？



ている。市民の皆さんには個別に、接種券や予診票と併せて接種方法を分かりやすく示した資料を郵送にて案内する。また、県及び市がそれぞれコールセンターを立ち上げ、様々な問合せに対応する。現在、ワクチンの供給時期や量の見通しが国から示されていないが、明らかになった際は、個別通知のほか、広報上越や市ホームページ等で必要な周知を行う。

問／森林空間を活用した中山間地域の魅力再発見事業の目指す姿についての考えを聞きたい。

答／市内に本来の林業とは異なる森林資源、空間を活用する動きが出てきており、そういった新たな活動が実際の収入につながることで、冬場や農閑期の収入源としても期待できることから、中山間地域での暮らしを安

問／市内だけでなく市外、県外の森林や中山間地域に興味を持つ方々を対象に、森林資源や空間を活用した市内各所での取組内容を紹介するシンポジウムを開催するほか、森林空間の魅力を直に体感できる薪づくりやたき火イベント等を実施し、森林の魅力や森林資源、空間活用の可能性を伝える取組を行います。

森林空間を活用した中山間地域の
魅力再発見事業 目指す姿は？

定させるだけでなく、中山間地域で生活する新たな意義を付加する意味でも大きな可能性を秘めている。この事業を通じて関係人口を増やしつつ、ひいては中山間地域での移住、定住が図られるよう森林資源や空間を活用した新たなありわいの創出につなげていきたい。

